



鶴年
作
月
画



六
編
非題曲五國自

下

~ 13
3721
12



門へ13
 3721
 12
 卷

所法之經

梅松録

六魚人

下乃

卷

秀賀作

岡貞画



三

梅松録
 六魚人
 下乃
 秀賀作



梅松録
 六魚人
 下乃
 秀賀作

梅松録
 六魚人
 下乃
 秀賀作

梅松録

下乃

文久三癸亥春開鐫目錄

鶴亭秀賀著 棋蝶樓國貞画



御所櫻梅松録

六編ヨリ 鶴亭秀賀作
十一編マテ 棋蝶樓國貞画

七編 花の下るる隠遊びの続より亦々是より郷八重梅とせんを疎んと
あのみ玉り八編 八重梅の助初 祇園の社へは代茶して暗小落會るより
八重梅御前病氣の一段 九編 八重梅の前花は准一調伏より八重梅御前より
御遊去若君御愁傷の譚み終る 十編 十一編 八重梅の前の妬心稍頭より
より 吳竹零落又ハ若君梅の本御再誕をを誌す

御所 奉公 日記 十二編 應賀作
大尾芳虎画

教草女房形氣 十三編 秀賀作
廿四編 國貞画

花衣狐草紙 三編 魯文作
五編 芳虎画

童繪解萬國新 四編 魯文作
五編 芳虎画

在 地本錦繪問屋 錦橋堂 山田屋庄次郎板
江戸南傳馬町三丁目

